

「彩の国食肉市場(株)」を設立

将来的に経営統合

川口荷受とアグリリス社

(株)アグリリス・ワン(埼玉県和光市、阿部昌史会長)および川口食肉荷受(株)(埼玉県川口市、佐谷竜一社長)は共同出資により、7月31日付で彩の国食肉市場(株)(埼玉県川口市領家4-7-18、阿部昌史社長)を設立。併せて、同社およびアグリリス・ワン、川口食肉荷受の3社は、3社の経営統合に向けた基本合意書を8月18日付で締結したと発表した。

両社は、いずれも埼玉県内で長年にわたり食肉処理・流通事業を営み、地域の食のライフラインを支えてきた。

近年、畜産農家の減少・高齢化、既存施設の老

朽化、衛生管理基準の高度化、災害リスクへの備えなど、食肉処理事業を取り巻く環境は大きく変化しており、県内畜産農家の出荷先を安定的に確保し、食肉の処理・流通

の合理化を図ることは、地域の畜産振興、地産地消の推進および食の安定供給に直結する社会的課題となっている。

今回の経営統合は、両社の経営資源と技術ノウハウを結集し、行政機関・関係団体との連携の下、この課題に因應することを目的とするもの。統合による経営基盤の強化と併せて、川口食肉荷受の地方卸売市場としての

機能を維持することで、と畜解体・食肉処理を担う人材の雇用を維持し、熟練技術の承継と処理体制の安定を図る。

その上で、県産食肉の地産地消を支える拠点として、HACCPに準拠した高度衛生管理体制、環境負荷低減設備、災害時にも機能を維持する事業継続体制を備え、海外輸出基準にも対応する新たな食肉市場センターの整備を埼玉県内で目指していく。

経営統合の方式・時期、新施設の具体的内容および整備時期などにつ

いては、今後両社で協議の上、決定次第、改めて発表を予定する。なお、協議期間中も、両社の各事業および取引先との取引については、従来通り継続する。

彩の国食肉市場の役員体制は次の通り。
代表取締役社長 阿部昌史▽取締役 佐谷竜一、下山一郎、下山清秀、音田敏彦、富田和広▽監査役 福島孝義



アグリリス・ワンの阿部会長(中央)と川口食肉荷受の佐谷社長(その左)